

世界ハイブリッド証券ファンド201512
(ヘッジあり)

(愛称) ゆうせん君プラス201512

単体型投信/内外/その他資産 (ハイブリッド証券)

満期償還 第7期 2019年6月25日償還
作成対象期間 (2018年12月26日~2019年6月25日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「世界ハイブリッド証券ファンド201512 (ヘッジあり) (愛称: ゆうせん君プラス201512)」は、信託約款の規定に基づき、2019年6月25日をもちまして信託を終了し、満期償還いたしました。

当ファンドは、世界ハイブリッド証券マザーファンド201512への投資を通じて、主に世界の企業(金融機関のほか、事業会社も含まれます。)が実質的に発行するハイブリッド証券を中心に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第7期末 (償還日 2019年6月25日)	
償還価額	10,059円47銭
純資産総額	3,592百万円
第7期	
騰落率	+1.0%
分配金	—

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/> にアクセス→
ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間: 午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

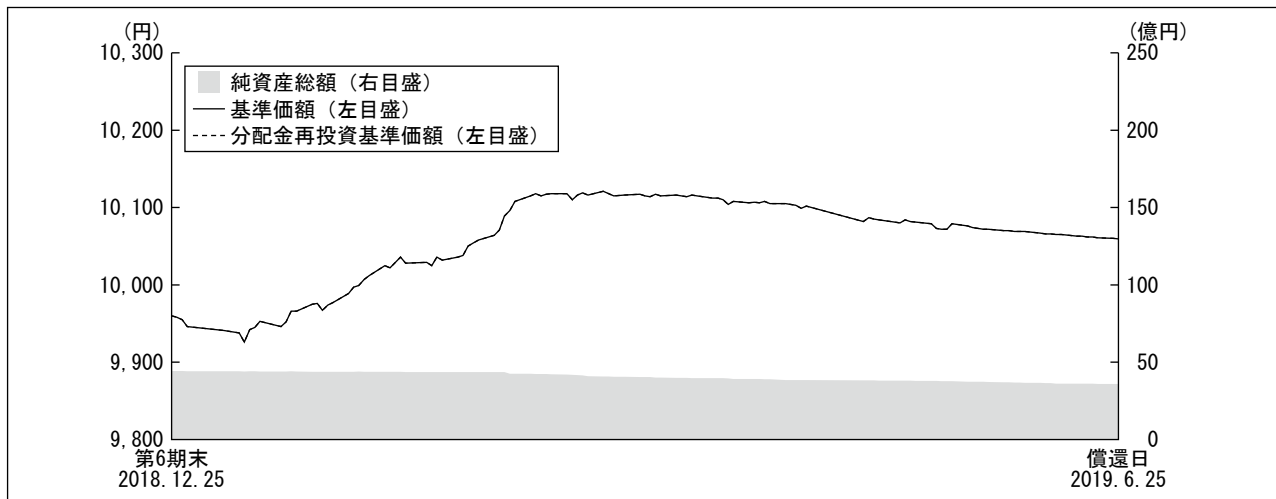


三井住友DSアセットマネジメント

(旧: 大和住銀投信投資顧問)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

第7期首：9,960円

償還日：10,059円47銭（既払分配金 ー）

騰落率：+1.0%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、世界ハイブリッド証券マザーファンド201512への投資を通じて、主に世界の企業（金融機関のほか、事業会社も含まれます。）が実質的に発行するハイブリッド証券を中心に投資を行いました。

（上昇要因）

FRB（米連邦準備制度理事会）の政策がハト派的となったことを背景に、中長期的な金利上昇期待が後退し、デュレーション*の長い従来型優先証券が上昇したことが上昇要因となりました。また、クーポンが高く、コール（期限前償還）までの期間の短い一部の優先証券で、高いクーポン収入がプラスに寄与したことも上昇要因となりました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【1万口当りの費用明細】

項目	当 期		項目の概要
	2018年12月26日～2019年6月25日		
	金額	比率	
信託報酬	83円	0.824%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,056円です。
（投信会社）	(43)	(0.431)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(38)	(0.377)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.000	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ハイブリッド証券）	(0)	(0.000)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ハイブリッド証券）	(0)	(0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.020	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.011)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(1)	(0.009)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	85	0.844	

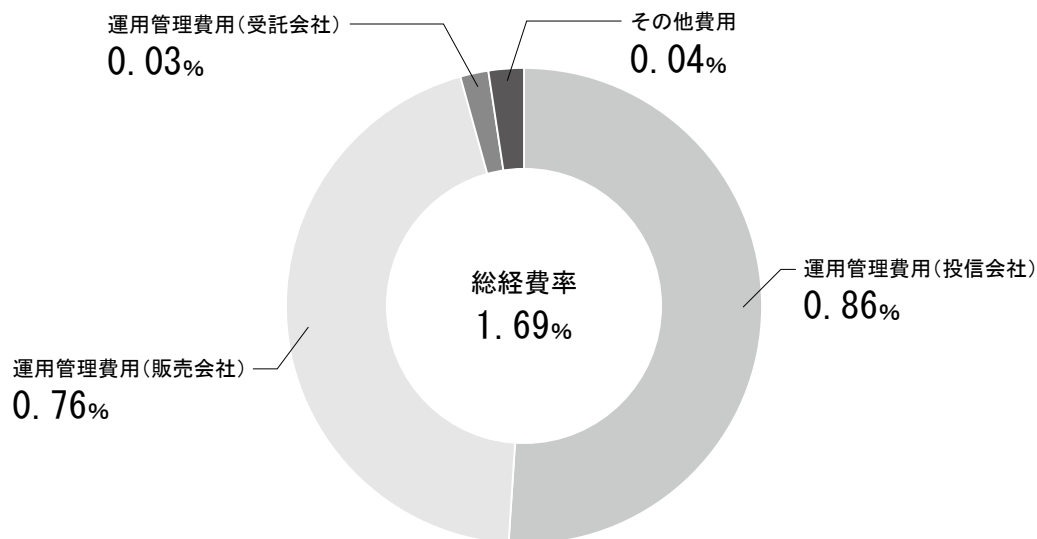
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



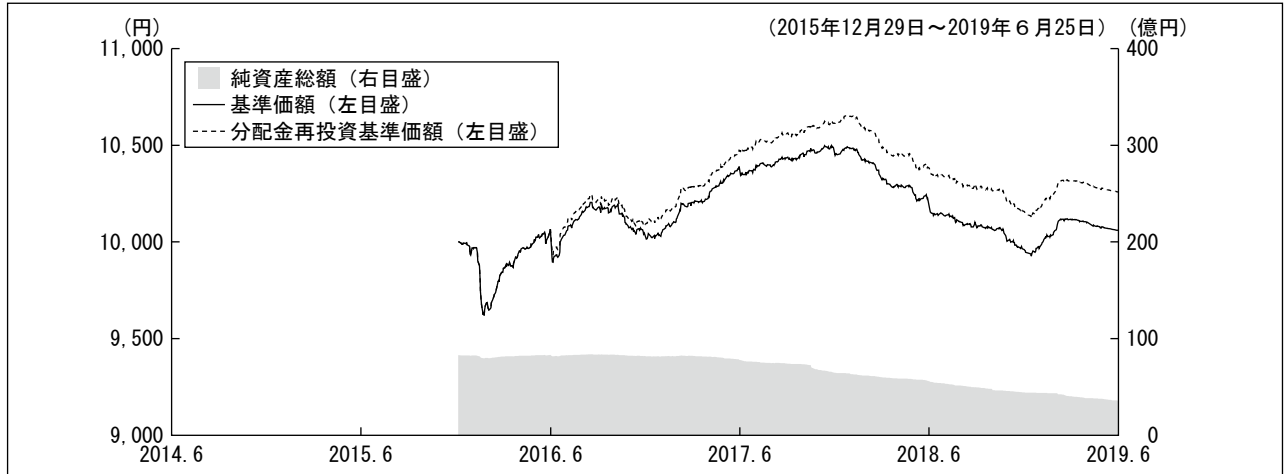
*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.69%です。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日（2015年12月29日）より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

	2015年12月29日 設定日	2016年12月26日 決算日	2017年12月25日 決算日	2018年12月25日 決算日	2019年6月25日 償還日
基準価額 (円)	10,000	10,015	10,449	9,960	10,059.47
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	80	80	40	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.0	5.1	△4.3	1.0
純資産総額 (百万円)	8,276	8,166	6,468	4,433	3,592

【投資環境】

当期の優先証券市場は、1,000ドル額面の銘柄が中心の店頭市場、25ドル額面の銘柄が中心の上場市場ともに上昇しました。2019年初めから、FRBをはじめとする世界の主要中央銀行によるハト派的な姿勢に加え、米国では経済指標が堅調に推移し、ファンダメンタルズ（基礎的条件）は健全と見られました。また、企業業績が好調だったこともあり、株式市場も反転上昇し、リスクオンのセンチメントがクレジット市場にも波及し、クレジット・スプレッドが大幅に縮小して優先証券市場も上昇しました。また、政策金利見通しが低下したことにより、米国債利回りが大幅に低下したことで、幅広い債券市場が上昇したことも、優先証券市場にとって追い風でした。

【ポートフォリオ】

■世界ハイブリッド証券ファンド201512（ヘッジあり）

主要投資対象である世界ハイブリッド証券マザーファンド201512を期を通じて組み入れました。その後、2019年6月の償還に向けてマザーファンドを売却し、2019年6月25日に満期償還いたしました。

■世界ハイブリッド証券マザーファンド201512

当期の騰落率は、+1.4%となりました。

為替要因では、米ドルが対円で下落したことが円ベースのパフォーマンスにマイナスに作用しました。

主な売買としては償還のための売却が中心でした。なお、コールもしくはテンダー（買入消却）された銘柄はありませんでした。

2019年6月の償還に向けて組入ハイブリッド証券を全売却し、2019年6月24日に繰上償還いたしました。

※設定以来の運用経過につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

分配金につきましては、償還のため、分配は行っておりません。

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

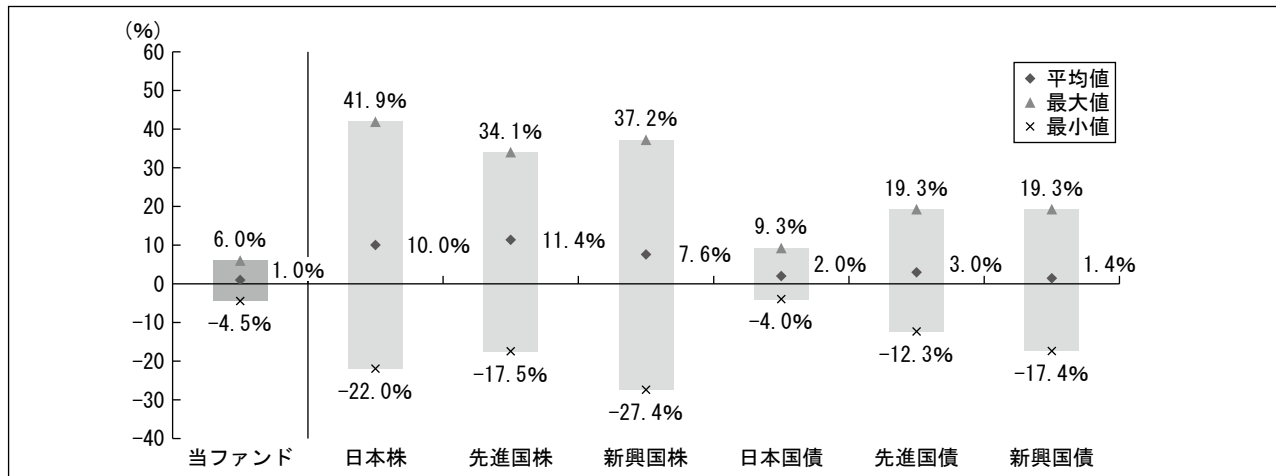
委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

当該投資信託の概要

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2015年12月29日～2019年6月25日（約3年半）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の企業が実質的に発行するハイブリッド証券を中心に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	世界ハイブリッド証券マザーファンド201512受益証券
	世界ハイブリッド証券マザーファンド201512	主に世界の企業が発行するハイブリッド証券
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 運用はファミリーファンド方式で行います。 世界の企業（金融機関のほか、事業会社も含まれます。）が実質的に発行するハイブリッド証券を投資対象とします。 ハイブリッド証券への投資にあたっては、流動性、発行状況、償還条項、発行体の信用力やバリュエーション等を勘案しつつ、主として信託期間の終了前後に繰上償還等が期待できる銘柄に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。 	
分配方針	<p>毎年6月、12月の25日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。</p> <p>分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当収益のいずれが多い金額とします。分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド: 2016年12月～2019年5月
代表的な資産クラス: 2014年6月～2019年5月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

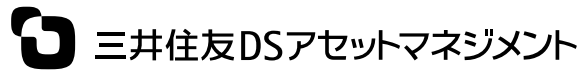
<<当該投資信託の組入資産の内容>>

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

【純資産等】

項目	償還時
	2019年6月25日
純資産総額	3,592,564,858円
受益権総口数	3,571,326,259口
1万口当り償還価額	10,059円47銭

* 当期中における解約元本額は880,062,075円です。



三井住友DSアセットマネジメント